(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和4年5月6日　　企業･団体名：株式会社ハート

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場･社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ･性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		･採用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で平等な体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ･セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール･教育･相談体制を整備している	●		･あらゆるハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ･ハラスメントに関する教育を随時行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ･男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		･業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組み、細かい時間単位で取得可能な有給休暇制度の実施、有給休暇の取得奨励、テレワークの導入などを推進し、子育てや地域、家庭の活動に積極的に参画できるような環境を整えている。 ･ダイバーシティ経営企業100選(経済産業省)に選出された。								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ･外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		･国籍、宗教を問わず、受け入れ環境、労働環境の体制を整備し続けている。 ･ダイバーシティ経営企業100選(経済産業省)に選出された。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ･業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		･全スタッフに向け労働安全衛生に関する講習を定期的に開催している。			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ･労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		･【予定】メンタルヘルスに関する方針と計画を策定していく。			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ･多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		･多様な人材が活躍できる制度を設けており、さらに随時アップデートを行っている。 ･リモート勤務など、場所を問わず働ける環境整備を進めている。 ･ダイバーシティ経営企業100選(経済産業省)に選出された。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ･適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		･研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を積極的に奨励している。 ･高知MBAの受講や、高知デジタルカレッジの受講を通じて社内における人材の育成、成長を促している。				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ･雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		･働き方改革関連法など随時アップデートが行われる関連法令の内容を理解し、スタッフへの公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ･従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	･正社員、パート、アルバイトを問わず、健康診断の実施や、がん検診などの定期検診の実施及び拡充を行っている。			3					8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ･新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	･在宅勤務や時間単位での勤務、休暇取得などの労務管理体制を整えている。 ･ウェブ会議を積極的に行っている。 ･社内のあらゆる部署でのリモート勤務体制を段階的に整えている。			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ･労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ･アフターコロナ時代における社会･経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	･土佐MBAの受講や、高知デジタルカレッジの受講を通じて、社内におけるIT人材の育成、成長を促している。 ･事業戦略において、デジタル化の取り組みを位置付けている。 ･社内のあらゆる部署でのリモート勤務体制を段階的に整えている。								8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ･廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		･製造工程で発生する布の端切れや綿などは、産業廃棄物となっていたが、アップサイクル利用している。2030年までに製造から出る廃棄物をゼロにする。											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ･電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		･エネルギー使用量の算出、電気使用量のモニタリングを行い、使用量の抑制を行っている。 ･社用車はEV車を導入している。							7.3						13				

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・当社が取得しているオーガニック国際認証の基準にはCO2や温室効果ガスの排出量のモニタリングと削減が必須項目であり、月単位で記録、削減を行っている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・オーガニックの国際基準に準じた企業活動を行っており、オーガニック国際認証を取得している。環境や人を含む生態系に影響を与える有害化学物質は使用禁止、また混入も禁止されており、工場や職場では一切持ち込みや使用は行われていない。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・オーガニックの国際基準に準じた企業活動を行っており、オーガニック国際認証を取得している。環境や人を含む生態系に影響を与える有害化学物質は使用禁止、また混入も禁止されており、工場や職場では一切使用されない。また、産業廃棄物を積極的に再利用し、2030年までに製造から出る廃棄物をゼロにする。						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・製造工程で発生する布の端切れや綿などは、産業廃棄物となっていたが、アップサイクル利用している。2030年までに製造から出る廃棄物をゼロにする。												12.5		14.1			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	・当社が取得しているオーガニック国際認証の基準にはCO2や温室効果ガスの排出量のモニタリングと削減が必須項目であり、月単位で記録、削減を行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	・自社の水利用状況を把握し、使用量削減を行っている。また、定期的にオーガニック認証機関が検査に入り、第三者の目を通してモニタリングも行っている。						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●	・当社が取得している国際オーガニック基準GOTSは、ISOの基準内容も網羅しており、環境の負荷を減らしていくマネジメントを行っている。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	・国際オーガニック検査機関のページにて検査クリアの情報が公開されている。 ・ショッピングサイトやコーポレートサイトなどで各種報告書の随時公開を行っている。												12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	・電力の省エネプランを導入している。							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	・環境への負荷の少ないオーガニック認証された原料を使用し、トレーサビリティの追跡を行える体制を作っている。												12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	・積極的に規格外農産物を有効活用している。	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている。																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向けその重要性を発信している。 ・不正競争行為の禁止を含む行動規範を整備し、明文化している。 ・仕入れ先等に対し、不当な値引き圧力が無いか、チェックしている。																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・特許、商標等知的財産権の取得・管理をしている。 ・知的財産に関する研修や勉強会など、侵害防止に対する取り組みを行っている。								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・個人情報保護に対する基本方針を定めて公表するとともに、体制を整備している。 ・勉強会を開催するなど情報漏洩防止を徹底している。 ・情報漏洩事故に対する具体的な対応策を策定、随時アップデートを行っている。																16	

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	・自社製品の原材料サプライチェーンのトレーサビリティと背景を把握している。																16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●	・当社が取得している国際オーガニック基準GOTSは、従事するスタッフの労働環境や農場、工場周辺の環境や生態系への影響をすべてのサプライチェーンにおいて、第三者によるモニタリングが行われる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・経産省より製品安全対策優良企業に選出された。 ・製品、サービスの製造から提供、使用まですべてのサプライチェーン、利用環境を考慮、リスクを洗い出し対策を行っている。またそのプロセスについて、第三者認証機関によるモニタリングも行っている。			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・顧客からの声を情報共有するための体制を整え、品質向上のためスタッフ間で意見交換、研修等を行っている。									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・再生紙の利用を推進している。 ・環境負荷の低いものやグリーン製品を購入している。 ・製造に係るCO2を計測、随時削減を行っている。 ・製造時に出る廃材などを積極的にアップサイクル利用している。						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	・本社、工場の木質化に取り組んでいる。 ・木材を用いた新たな製品開発に取り組んでいる。						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	・製造時に出る廃材などを積極的にアップサイクル利用、製品化を行っている。 ・製品、パッケージの脱プラスチックを進めている。 ・当社が取得している国際オーガニック基準GOTSは、環境やサプライチェーンでの負荷や不平等を解消する項目が厳しく設けられ、モニタリングされている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・地域との対話や工場見学などを行い、交流し、当社事業の地域への各方面での影響を把握し、改善、アップデートに努めている。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・難病支援を行う団体への支援を行っている。また、今後、森林保護や海洋保護への寄付なども積極的に行っていく。				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・高知県の各業者との製品コラボレーションや各種連携により、県産原材料の利用を促進、地産地消を推進している。								8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・法令遵守(コンプライアンス)の方針、手順などをスタッフの行動規範におとしこみ、随時周知徹底を図っている。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営理念を明文化し、経営陣が会社事業のあるべき姿をスタッフに説明共有している。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・社会、環境に対するインパクトを社内スタッフ全員で情報共有し、担当スタッフがまとめ発信を行っている。																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・顧客へ向けて定期的なアンケートを実施し、製品、サービスの向上に努めている。 ・取引先や地域社会、行政機関等と連携した取り組みを進めている。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・法令遵守(コンプライアンス)の方針、手順などをスタッフの行動規範におとしこみ、随時周知徹底を図っている。																16	

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・リスクマップ等を活用してリスクの洗い出しと明文化を行い、定期的に評価、適切な対策を講じている。また、第三者認証機関による、外部からのチェックも行っている。																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・当社が取得している国際オーガニック基準GOTSに基づき、第三者認証団体によるCSRの実施状況などのモニタリングを行っている。																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・大地震、巨大台風などの自然災害、感染症流行によるパンデミックなどに備えてBCPを策定。随時アップデートを行い、スタッフ間での情報共有を行っている。									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・2020年に事業承継が行われた。また、事業のさらなる強靭化へ向けて随時後継者の育成を行っている。								8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・事業所にヘルメット、笛、食料や資機材を備蓄している。 ・全スタッフのミーティングでハザードマップの確認、災害発生時の初動についてなど、随時周知活動を行っている。 ・事業継続計画(BCP)を策定している。				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・地域消防署などと連携し定期的に避難訓練を行っている。 ・高知県防災関連製品認定制度で認定を受けた防災関連商品の販売を促進している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・顧客、スタッフ、関連取引先に対し、SDGsの普及啓発を行っている。 ・社内でSDGsロゴの掲示、また定期的にスタッフへの研修を行い、意識の浸透を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・当社の事業に興味を持つ方に向け、インターンシップなどを積極的に行っている。 ・高知県移住促進・人材確保センターを通じてUIターン人材の積極採用を行っている。 ・都市部にいながら当社に勤められるようリモートワークの拡充を図っている。				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	・当社工場は山間部にあり、地域の雇用の拡大に向け積極的に活動している。 ・工場の立地する山間部でのカーボンオフセット活動を行っている。								8	9		11						